



来週の投資戦略（6/29-7/3）

「行って来い」の後は？

2026年6月28日

小松 徹

注目事項 - 見所

- 7月1日、6月の日銀短観—大企業製造業の業況判断指数、現状と行きやや悪化？
- 7月1日、ウォッシュ連邦準備理事会（FRB）議長発言 — インフレ重視？
- 7月2日、6月の米国雇用統計 — 非農業部門雇用者数、前月比+13.5万人？

株式市場見通し

先週木・金曜日の日経 225 の動きはまさに「行って来い」だった。上げも下げも 3,000 円を超えた（率にして+4.6%から-4.1%へ）。木曜日早朝に入った米マイクロン・テクノロジー（半導体大手）の驚く好決算結果と強い会社見通しで、わが国の株式市場は AI・半導体関連銘柄買い一色となり、他の銘柄は無視された。もちろん、マイクロンの株価が米国夜間取引で 15%前後急伸したことから、明日の米国フィラデルフィア半導体株価指数（SOX）も大幅高と見込んだこともあった。同指数は+3.5%上昇したとはいえ、アップル（ハイテク最大手）が半導体価格の上昇で製品の大幅値上げを発表して、消費者・投資家からノーを突き付けられた（6.1%下落）ことは想定外だった。

金曜日わが国の市場明け前にオープン AI が上場を来年に延期するとの報道もあり、株主であるソフトバンクグループ（9984）が 12.5%急落した。6.2 兆円の赤字決算のうち、早期の黒字化が見込み難いなか、スペース X（宇宙、通信）の株価推移も参考にしたのである。スペース X の株価は公開後 3 日で 40%近く急伸したが、2 週間で元に戻った（打ち上げた衛星が無事戻ったように）。ただ、金曜日の東証プライム上場銘柄のうち 915 が上昇して引け、下落数 613 を上回ったことは、AI・半導体関連銘柄が崩れても買われる銘柄が多数あることを示した。

さて、来週水曜日に日銀の 6 月短観が発表される。大企業製造業の業況判断指数は現状、行きとも前回より 1 ポイント悪化すると見込まれている。非製造業の方は、現状、先行きとも変わらないと見られているが、今回も先行きが 7 ポイント低い。前回も今回も米・イラン戦争の開始前後、終結前後と回収時期が微妙であることに留意したい。さらに、両国が覚書締結後も週末にお互いに武力攻撃している。

最後に来週発表のイベントと経済指標について。水曜日にウォッシュ FRB 議長が欧州中央銀行（ECB）フォーラムで発言する。前回の連邦公開市場委員会（FOMC）後の会見で披露したように、中央銀行が先行き政策見通しを述べることに否定的で、ラガルド ECB 総裁がどう反応するか。米国では金曜日が振り替え休日なので、木曜日に 6 月の雇用統計が発表される。非農業部門雇用者数が前月比+13.5 万人と前月の+17.2 万人ほどではないが、良い数値が見込まれている。失業率は変わらないが、平均時給は前年比 0.1 ポイント上昇の 3.5%が予想されている。なお、先週金曜日発表の 6 月の東京都区部消費者物価指数（生鮮を除く）が前年比+1.6%と予想を 0.3 ポイントも上回った。お弁当が+26%と高かったことなどが影響した。

KPA の投資戦略

ロング（買い）	ショート（売り）
好財務の割安株、今期増益株	高 PB 低位株、高 PE 新興株

(注) ヘッジ・ファンド向け戦略としての一例。投資期間は半年程度を想定。



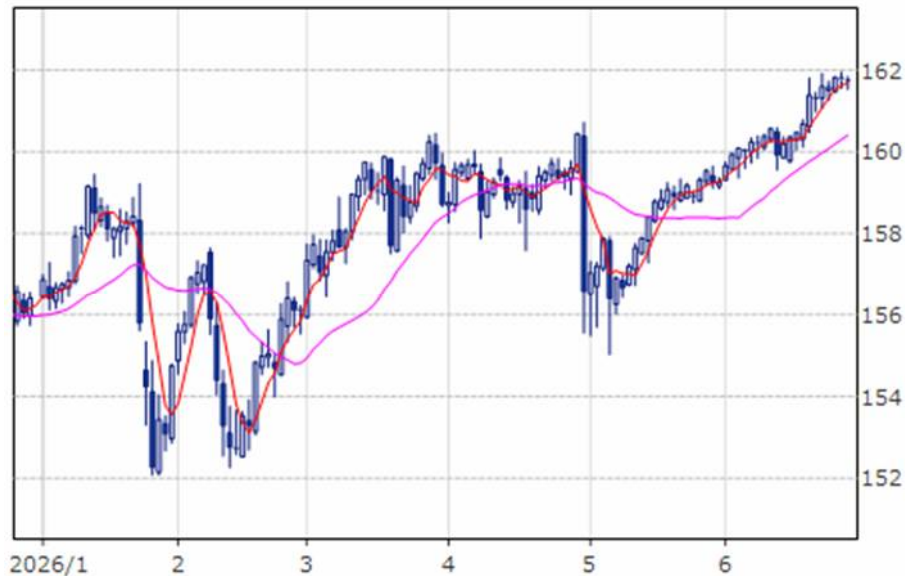
日経225



TOPIX



米ドル・円相場



本レポートは、情報提供の目的のみでご利用者に提供されるものであり、有価証券売買に関する何らかの申し込みまたは勧誘を意図するものではありません。本レポートに記載されるすべての意見および予測は、レポートの日付時点におけるコマツ・ポートフォリオ・アドバイザーズ(以下、KPA)の判断であって、予告なしに変更される場合があります。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析がすべてのご利用者にとって適切であるとの表明を行うものではありません。ご利用者は、投資に伴うリスクとメリットがご自身にとって適切であるかどうか、自己の責任で判断して頂きます。KPAは本レポートについてその正確性、完全性または適時性を保証していません。KPAはいかなる保証も行わないことを明確にしています。KPAは本レポートに記載される情報もしくは分析にご利用者が依拠した結果として被る可能性のある直接的あるいは間接的な損害について責任を負いません。本レポートについての知的財産権はKPAに帰属し、著作権、特許権、商標権その他の知的財産権に関する法令により保護されています。本レポートを印刷した場合も、その印刷物の著作権は、KPAに帰属します。ご利用者は個人的利用を目的としたバックアップのためにのみ印刷、複製することができます。プリントアウトした印刷物や複製したデータを、個人的利用以外の目的で使用することはできません。ご利用者は、本レポートを、有償・無償を問わず、第三者に提供することはできません。また、これを改変、修正することはできません。本規定にご利用者が違反した場合、KPAは金銭的な損害賠償を含む救済手段を請求する権利があります。

©2000–2026 Komatsu Portfolio Advisors Co., Ltd. All rights reserved.